

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：22081

学校名：札幌市立幌北小学校
ひまわり分校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	○体力調査等は、行っていない。 ○体調に合わせて運動する。	・児童の体調により登校不可の日があり、単元を通じた継続的な取組を行うことが難しい。 ・児童に運動制限があり、全国体力・運動能力調査で行う運動ができない。
体力・運動能力 <女子>	○体力調査等は、行っていない。 ○体調に合わせて運動する。	・児童の体調により登校不可の日があり、単元を通じた継続的な取組を行うことが難しい。 ・児童に運動制限があり、全国体力・運動能力調査で行う運動ができない。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○運動制限はあるが、体を動かすことが好きな児童が多い。 ○体調を崩す以前は運動系の習い事をするなど、ある程度の運動習慣が身に付いている児童が多い。 ○体調に合わせて運動する。	・体調が快方に向かい、運動可能な状態になると、体を動かすことに意欲的になる児童が多く、運動を楽しむ姿が見られる。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<p>○仲間と体を動かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の体調面の実態を考慮した運動の種類を選択、少ない体育の時間を仲間や教諭と体を動かすことができる「楽しむ時間」へ位置付け、授業の充実を図る。 ・児童の体調を踏まえ、適切な運動種目を実施する。児童にとって楽しい授業構築を目指す。 <p>○心のリフレッシュ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさを味わうことから、心にゆとりを生み出し、心がリフレッシュできるように工夫する。 <p>○小中合同授業の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多人数で行う楽しさを実感させ、お互いの活動を見合うことができる場、アドバイスし合う場を設定し、仲間と関わり合う授業構築を行う。 	<p>○病棟と教室の行き来</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が快方し、退院が近くなった際は、階段を使用した行き来をし、体力向上を図る。 <p>○病棟・病室での生活を利用して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドでのストレッチや柔軟運動を行ったり、病室から同じフロアの談話室へ歩いたりすることを行う。 ・病棟を散歩し、気持ちのリフレッシュを図る。 <p>(病棟からの支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の機会としてリハビリを活用。 ・専門的な方から適切な指導・支援を受けることができる。 	<p>○基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動や管理栄養士による食育指導を活用する。心と体の健康な成長が自らの生活に関わっていることを指導していく。 <p>○講習会の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科医師による分校職員研修から子どもの実態を学び、子どもが自ら健康保持できる場の整備に努める。北大病院感染制御部の看護師を講師に招いて、手洗いの指導を行い、子どもの生活習慣の改善に努める。 <p>○保護者の面談を生かして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の健やかな育成において子どもの情報を保護者と共有。指導改善に繋げていく。
--------	--	--	--

家庭・地域との連携・協働

- ・主治医からの運動制限に関わる児童情報をもとに、体育での活動内容を精選する。
- ・「体を動かすことは楽しい。運動をつづけたい。」と実感できるよう授業改善に取り組み、把握した児童の状態を病棟との情報共有に生かす。
- ・小中合同授業を積極的に行う。異学年での交流から、運動に親しむ姿勢を育み、運動する楽しさを実感させていく。